

経営比較分析表（令和元年度決算）

徳島県 つるぎ町

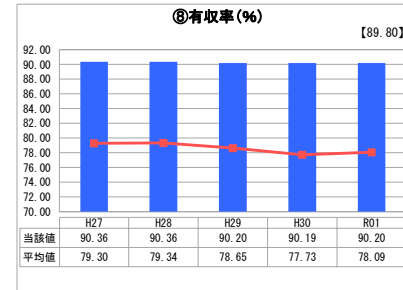
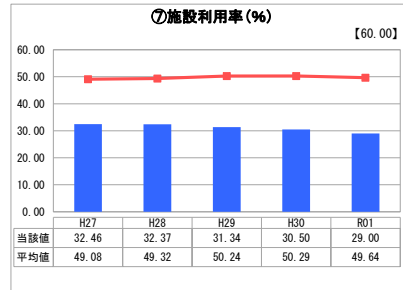
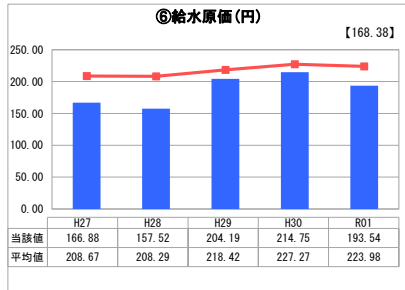
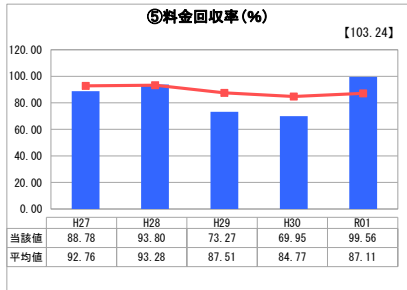
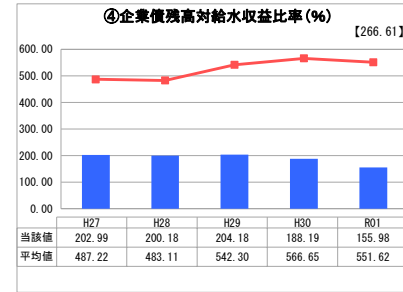
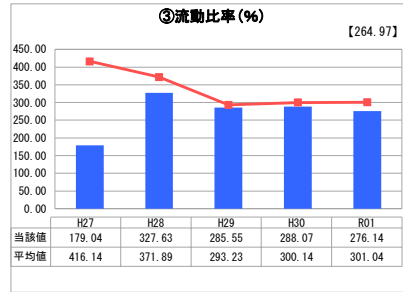
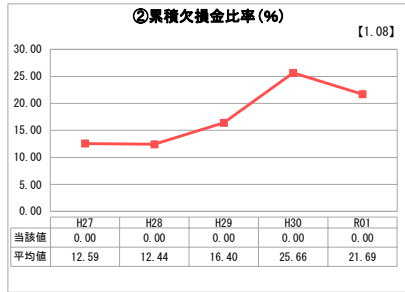
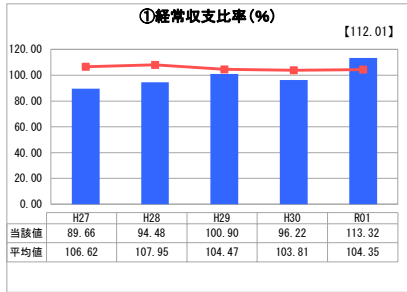
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.12	87.01	3,790	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,697	194.84	44.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,498	49.04	152.90

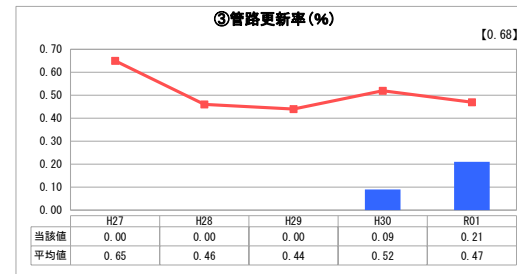
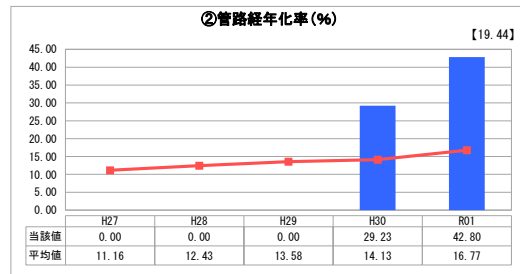
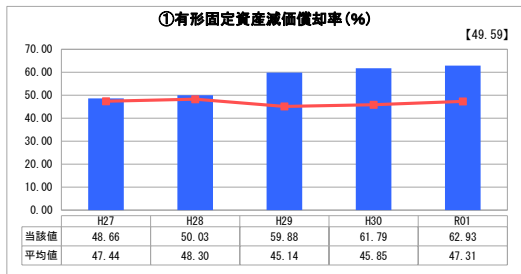
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成31年4月の料金改定や費用削減等経営改善取り組みの結果、経常収支比率が100%を上回り健全性を示す数値となった。料金回収率についても給水原価に見合わない供給単価である状況が続いていたが理想的な数値に転化した。施設利用率は3割を割り込み類似団体と比較しても劣位である。ダウンサイジングやスペックダウンについては困難を極めるが費用対効果を踏まえ施設更新等のタイミングで検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年化率及び管路更新率全てにおいて類似団体より劣位であり、老朽化が進行している。今後もさらに更新需要が高くなるため、平準化を念頭に効果的・効率的な投資を行う必要がある。

全体総括

料金改定や費用削減等経営改善取り組みの結果、前年度までの経営に関する各指標が健全な数値に転化した。管路の老朽化が顕著であるため更新需要の把握、計画的な更新事業の実施が急務である。一定の内部留保を確保し、事業面及び管理運営面のバランスに留意しながら適正な規模での検討を行う。